

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)  
平成27年度臨床研究等ICT基盤構築研究事業

全国共同利用型国際標準化  
健康・医療情報の収集及び利活用に関する研究

# 千年カルテプロジェクトの概要と現状

平成30年1月24日

NPO法人 日本医療ネットワーク協会

京都大学名誉教授  
宮崎大学名誉教授(特別教授)

吉原 博幸



Japan Medical  
Network  
Association  
Non-Profit Organization

# 千年カルテプロジェクトの概要



千年カルテプロジェクト(以下PJ)は、参加医療施設や患者にEHR機能等による付加価値を提供した上で、医療情報利活用を促進し、EHRの運用を含め自立採算で継続する仕組みを目指しています。

## 事業全体像

### B to R データ利活用

医療関連機関、大学等、  
製薬企業、行政等

承認・情報提供 ↑ ↓ 情報提供依頼

匿名加工医療情報作成事業者

二次利用

システム

医療情報DB

- ✓ 匿名加工処理
- ✓ 統計処理

EHRシステム

医療情報DB

(ISO13606)

- ✓ 個人同意契約管理
- ✓ 閲覧者の認証

EHR運用機関

Mapper(ISO13606変換)

参照

健康情報

閲覧

依頼  
(同意)

病院

診療所

...

生活者

B to B(EHR)

B to C(PHR)

利用料

利用料

## サービス機能

### A. 災害に備えたバックアップ

万が一の災害等に備え、遠隔保存と緊急時の自院の情報を閲覧する機能を提供

### B. 医療施設間情報連携 (EHRサービス)

連携医療施設間の患者様の過去の診療状況、検査値などの情報を閲覧する機能を提供

### C. 患者への情報提供 (PHRサービス)

患者様の申込みにより本人の治療/健康に関する情報を提供

### D. 情報セキュリティ機能 (医師/患者のアクセス権)

- ・自院の情報開示範囲 (診療科/患者) 毎の設定、医師/情報管理者単位でのアクセス権設定、グループ施設の一括設定

〔現在、企画・検討中のサービス機能〕

### E. 治療に役立つ情報提供

- ・学会情報連携サービス
- ・検査値の異常値を検知し医療施設、患者への情報通知
- ・専門医による画像診断サポート

### F. 医療施設への高付加価値事業

- ・電子カルテと連動した治験業務支援
- ・経営指標などの分析レポートの提供
- ・研究者に対する臨床研究支援

二次利用

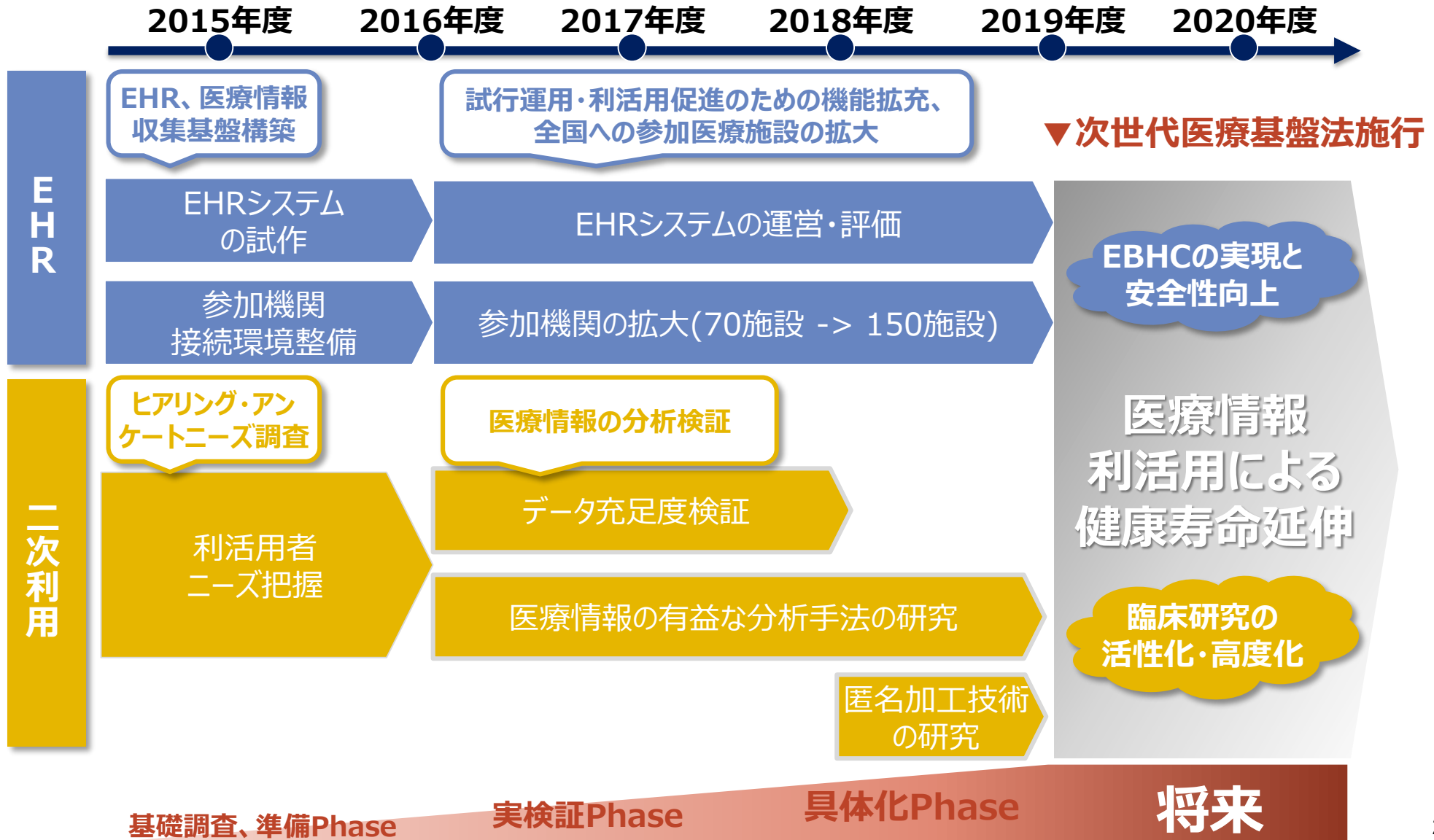
### G. 医療情報利活用の推進

- ・「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律」にもとづき研究機関や製薬企業の医療情報分析を支援

# 千年カルテプロジェクトの取り組み



2015年よりAMEDの研究事業を進め、EHRシステムの全国展開・医療情報の利活用研究を進めてきました。現在は新法下で利活用促進と施設向け機能の提供を両立できるモデルの研究を進めております。





千年カルテDBでは、過去のDB研究において確認できなかったアウトカム情報を活用できるようになります。過去の研究を発展させた新たな分析プロトコルを準備し、本格稼働後の速やかな成果発表を目指しています。

